

環境大臣賞受賞2団体がコラボ

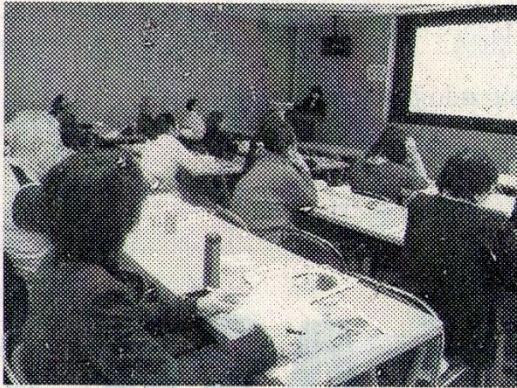
## 省エネ市民会議 「エコは三文の徳」

2月12日、(株)ファンケル美健千葉工場(西深井)で省エネ市民会議が行われ35人が参加しました。(株)ファンケルと同会議を主催した温暖化防止ながれやまは、今年度地球温暖化防止活動環境大臣賞を受賞。授賞式で顔を合わせたことをきっかけに、同工場での学習会が実現したそうです。

運河駅に集合した参加者は、温暖化防止ながれやまの一員で流山史跡ガイドも務める石垣幸子さんの案内で利根運河の歴史や周辺の史跡などを学びながらファンケルの工場へ。受賞理由となった同社の環境活動について学びました。

同社は従業員の家族を巻き込み「『家庭』と『会社』でエコプログラム」を家族で三文の得大作戦」を実施。総務省が発表する家族人数別の電気・ガス・水道の全国平均使用料金と自宅での使用料金を

半年毎に比較し、平均以下なら従業員と家族にギフト券を贈るといふもので、昨年後期は約200人が達成したそうです。同社CSR推進事務局の小倉悦子さんは「子どもが早寝早起きになり環境教育に役立っていると好評です。電気のスイッチを消すなど節電に貢献したら、カードにスタンプを押し満タンでこほうびなど、家族で楽しんで取り組んでいるようです」。



今回は女性も多数参加

その後はお楽しみみの工場見学。参加した女性は「ファンケルの商品に対する姿勢がよくわかり良かったです。家族を巻き込んでの省エネはぜひ参考にしたい」と話しました。同会議は、平成19年に開始し今回が89回目。環境家計簿やグリーンカーテンなど毎回様々なテーマで省エネについて学んでいます。次回は4月4日(金)に行われます。

### ◆省エネ市民会議

毎月第1金曜日

13時30分～15時30分

生涯学習センター

無料・要申込

問温暖化防止ながれやま

☎7154-6309